

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月7日

【四半期会計期間】 第69期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

【会社名】 オルガノ株式会社

【英訳名】 ORGANO CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 内 田 裕 行

【本店の所在の場所】 東京都江東区新砂1丁目2番8号

【電話番号】 03(5635)5105

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 秋 元 英 良

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区新砂1丁目2番8号

【電話番号】 03(5635)5105

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 秋 元 英 良

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第3四半期 連結累計期間	第69期 第3四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	43,563	40,087	66,718
経常利益又は経常損失 () (百万円)	1,657	741	3,909
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 () (百万円)	1,066	468	2,564
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,163	262	2,925
純資産額 (百万円)	43,484	43,925	45,207
総資産額 (百万円)	81,261	76,968	85,309
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額 () (円)	18.51	8.13	44.52
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.0	57.1	52.5

回次	第68期 第3四半期 連結会計期間	第69期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 () (円)	7.51	5.79

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、また、第69期第3四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

完全子会社7社との合併契約

当社は、平成25年12月24日開催の取締役会において、平成26年4月1日を効力発生日としたうえで、当社を存続会社として、完全子会社である以下7社を吸収合併することを決議し、平成25年12月25日に合併契約を締結いたしました。

（合併の対象となる連結子会社）

オルガノ北海道株式会社

オルガノ東北株式会社

オルガノ東京株式会社

オルガノ中部株式会社

オルガノ関西株式会社

オルガノ九州株式会社

（合併の対象となる非連結子会社）

オルガノ山下薬品株式会社

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 追加情報」に記載のとおりであります。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和政策、円安などを背景に、緩やかな景気回復に向かいつつあり、世界経済も債務危機に苦しむ欧州経済や成長に減速がみられていた中国をはじめとする新興国経済にも底入れ感が出始めていますが、全体としては未だ先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内では企業の設備投資、生産活動に緩やかな持ち直しが見られるものの、本格的な回復には至らず、主たる海外市場であるアジア地域においても、価格競争は一段と激しさを増しており、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、平成25年度より3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、水処理事業分野における顧客のあらゆるニーズに対して、ワンストップソリューション(One Stop Solutions)が提供できる企業グループの実現を目指し、事業ポートフォリオの転換をさらに加速させ、機動的な開発・製造・営業体制の構築を目指すとともに、一層のコストダウン、工事力の強化により、収益の改善に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間は売上高40,087百万円（前年同期比8.0%減）、営業損失981百万円（前年同期は営業利益1,432百万円）、経常損失741百万円（前年同期は経常利益1,657百万円）、四半期純損失468百万円（前年同期は四半期純利益1,066百万円）となりました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

当事業におきましては、国内では受注は産業全般で増加がみられるものの、電力分野をはじめとする産業全般で設備投資やメンテナンス、改造工事の延期などにより売上が減少しました。一方、海外では電子産業分野を中心に順調に推移し、受注及び売上也ともに増加しました。営業利益は売上高の減少や売上構成の変化、採算性の低下などにより減少しました。この結果、売上高25,748百万円（前年同期比12.5%減）、営業損失1,873百万円（前年同期は営業利益711百万円）となりました。

[機能商品事業]

当事業におきましては、顧客工場の操業度が緩やかに回復している中で、受注及び売上はほぼ前連結累計期間並みとなる一方、採算を改善した結果、売上高14,339百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益892百万円（同23.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,340百万円減少し、76,968百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金9,477百万円の減少によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7,058百万円減少し、33,043百万円となりました。これは主に、借入金3,732百万円及び支払手形及び買掛金3,100百万円の減少によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,282百万円減少し、43,925百万円となりました。これは主に、配当金の支払及び四半期純損失の計上に伴う利益剰余金1,044百万円の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1,113百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	126,960,000
計	126,960,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	57,949,627	57,949,627	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	57,949,627	57,949,627		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年12月31日	-	57,949	-	8,225	-	7,508

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

(平成25年9月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 341,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 57,066,000	57,066	
単元未満株式	普通株式 542,627		
発行済株式総数	57,949,627		
総株主の議決権		57,066	

- (注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式364株が含まれております。
 2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権3個)含まれております。

【自己株式等】

(平成25年9月30日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) オルガノ株式会社	東京都江東区 新砂1丁目2番8号	341,000		341,000	0.59
計		341,000		341,000	0.59

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、聖橋監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,809	8,211
受取手形及び売掛金	² 31,427	² 21,949
リース投資資産	7,902	9,322
商品及び製品	3,978	3,866
仕掛品	5,248	4,857
原材料及び貯蔵品	923	1,058
繰延税金資産	839	1,505
その他	1,653	1,936
貸倒引当金	112	102
流動資産合計	60,671	52,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,428	17,520
減価償却累計額	10,199	10,561
建物及び構築物（純額）	7,228	6,959
機械装置及び運搬具	4,937	5,013
減価償却累計額	4,106	4,228
機械装置及び運搬具（純額）	830	784
土地	12,494	12,495
建設仮勘定	84	16
その他	4,144	4,202
減価償却累計額	3,444	3,570
その他（純額）	699	631
有形固定資産合計	21,338	20,887
無形固定資産	326	374
投資その他の資産		
投資有価証券	1,207	1,371
繰延税金資産	1,456	1,428
その他	470	454
貸倒引当金	161	152
投資その他の資産合計	2,972	3,101
固定資産合計	24,637	24,362
資産合計	85,309	76,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 15,024	² 11,924
短期借入金	10,848	8,265
未払法人税等	646	183
前受金	1,513	2,902
繰延税金負債	7	5
賞与引当金	954	315
製品保証引当金	147	143
工事損失引当金	290	226
その他	² 2,558	1,971
流動負債合計	31,991	25,938
固定負債		
長期借入金	4,053	2,902
繰延税金負債	4	9
退職給付引当金	3,959	4,074
その他	92	118
固定負債合計	8,110	7,105
負債合計	40,101	33,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	29,397	28,352
自己株式	325	327
株主資本合計	44,805	43,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186	248
繰延ヘッジ損益	0	9
為替換算調整勘定	225	91
その他の包括利益累計額合計	39	166
少数株主持分	441	-
純資産合計	45,207	43,925
負債純資産合計	85,309	76,968

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	43,563	40,087
売上原価	32,344	30,939
売上総利益	11,218	9,147
販売費及び一般管理費	9,786	10,129
営業利益又は営業損失()	1,432	981
営業外収益		
受取利息	21	39
受取配当金	145	18
固定資産賃貸料	23	23
為替差益	66	234
持分法による投資利益	7	-
その他	73	49
営業外収益合計	338	366
営業外費用		
支払利息	97	76
持分法による投資損失	-	33
その他	14	16
営業外費用合計	112	126
経常利益又は経常損失()	1,657	741
特別利益		
固定資産売却益	-	1
特別利益合計	-	1
特別損失		
固定資産廃棄損	7	2
投資有価証券評価損	8	-
施設利用権評価損	7	0
その他	-	0
特別損失合計	23	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,634	743
法人税等	543	274
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	1,090	468
少数株主利益	23	-
四半期純利益又は四半期純損失()	1,066	468

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,090	468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	62
繰延ヘッジ損益	0	9
為替換算調整勘定	45	133
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	72	206
四半期包括利益	1,163	262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128	262
少数株主に係る四半期包括利益	34	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(追加情報)

完全子会社7社との合併契約

当社は、平成25年12月24日開催の取締役会において、平成26年4月1日を効力発生日としたうえで、当社を存続会社として、完全子会社である以下7社を吸収合併することを決議し、平成25年12月25日に合併契約を締結いたしました。

(合併の対象となる連結子会社)

オルガノ北海道株式会社

オルガノ東北株式会社

オルガノ東京株式会社

オルガノ中部株式会社

オルガノ関西株式会社

オルガノ九州株式会社

(合併の対象となる非連結子会社)

オルガノ山下薬品株式会社

合併契約の概要は、次のとおりであります。

(1) 合併の目的

当社グループは、これまで地域ごとのニーズに機動的に対応するべく、各地域に設立した子会社による営業・販売体制をとってまいりました。しかし、各種産業における国内生産拠点の統廃合・海外移転の流れをはじめ、当社グループを取り巻く市場環境は大きく変化しつつあります。

当社グループは、これらの変化に適切に対応でき、今後の更なる成長を実現させる体制・基盤づくりを検討してまいりましたが、この度経営資源の集中と効率化、市場での競争力強化による中長期的な事業拡大を目的として、これら子会社を吸収合併することといたしました。

合併後はオルガノ株式会社の本社並びに各地域の支店を国内の営業・販売窓口とし、お客様へのより一層のサービス向上、全国各地域における事業拡大を推進してまいります。

(2) 合併の方法

当社を存続会社とする吸収合併方式で、オルガノ北海道株式会社、オルガノ東北株式会社、オルガノ東京株式会社、オルガノ中部株式会社、オルガノ関西株式会社、オルガノ九州株式会社及びオルガノ山下薬品株式会社は解散いたします。

(3) 吸収合併に係る割当ての内容

完全子会社の吸収合併のため、本合併による株式その他の金銭等の割当てはありません。

(4) 合併の期日

平成26年4月1日

(5) 吸収合併消滅会社の概要

商号	オルガノ北海道株式会社	オルガノ東北株式会社
本店の所在地	北海道札幌市東区北7条東5丁目8番37北オルビル	宮城県仙台市青葉区本町1丁目11番1号
代表者の氏名	代表取締役社長 塩見 正樹	代表取締役社長 神林 常雄
資本金の額	20百万円 (平成25年3月31日現在)	20百万円 (平成25年3月31日現在)
純資産の額	464百万円 (平成25年3月31日現在)	210百万円 (平成25年3月31日現在)
総資産の額	1,189百万円 (平成25年3月31日現在)	1,060百万円 (平成25年3月31日現在)
事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売

商号	オルガノ東京株式会社	オルガノ中部株式会社
本店の所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号	愛知県名古屋市中区葵1丁目27番29号
代表者の氏名	代表取締役社長 古内 力	代表取締役社長 佐々木 正一
資本金の額	40百万円 (平成25年3月31日現在)	20百万円 (平成25年3月31日現在)
純資産の額	673百万円 (平成25年3月31日現在)	593百万円 (平成25年3月31日現在)
総資産の額	4,565百万円 (平成25年3月31日現在)	2,536百万円 (平成25年3月31日現在)
事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売

商号	オルガノ関西株式会社	オルガノ九州株式会社
本店の所在地	大阪府吹田市江の木町1番6号	福岡県福岡市中央区白金1丁目4番2号
代表者の氏名	代表取締役社長 下畑 昌樹	代表取締役社長 梅香 豊
資本金の額	50百万円 (平成25年3月31日現在)	20百万円 (平成25年3月31日現在)
純資産の額	1,320百万円 (平成25年3月31日現在)	538百万円 (平成25年3月31日現在)
総資産の額	4,818百万円 (平成25年3月31日現在)	3,409百万円 (平成25年3月31日現在)
事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売

商号	オルガノ山下薬品株式会社
本店の所在地	広島県広島市西区観音本町2丁目3番23号
代表者の氏名	代表取締役社長 柴田 芳昭
資本金の額	10百万円 (平成25年3月31日現在)
純資産の額	67百万円 (平成25年3月31日現在)
総資産の額	186百万円 (平成25年3月31日現在)
事業の内容	水処理薬品、水処理装置、機能材の販売及び各種メンテナンス

(6) 吸収合併存続会社となる会社の概要

商号	オルガノ株式会社
本店の所在地	東京都江東区新砂1丁目2番8号
代表者の氏名	代表取締役社長 内田 裕行
資本金の額	8,225百万円 (平成25年3月31日現在)
純資産の額	36,492百万円 (平成25年3月31日現在)
総資産の額	68,574百万円 (平成25年3月31日現在)
事業の内容	水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品、食品加工材の販売

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
従業員の銀行借入金に 対する保証債務	7百万円	10百万円
銀行借入に対する連帯保証 PTラウタン・オルガノ・ ウォーター	- (-)	52百万円 (0百万米国ドル)

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	230百万円	216百万円
支払手形 (その他流動負債(設備関係支払 手形)を含む)	998百万円	490百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	850百万円	783百万円
のれんの償却額	1百万円	12百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	345	6	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月2日 取締役会	普通株式	345	6	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	345	6	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月1日 取締役会	普通株式	230	4	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	29,434	14,128	43,563	43,563
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高				
計	29,434	14,128	43,563	43,563
セグメント利益	711	720	1,432	1,432

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	25,748	14,339	40,087	40,087
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高				
計	25,748	14,339	40,087	40,087
セグメント利益又は損失()	1,873	892	981	981

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失との間に差異はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	18.51円	8.13円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	1,066	468
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(百万円)	1,066	468
普通株式の期中平均株式数(千株)	57,615	57,608

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、また、当第3四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第69期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）中間配当について、平成25年11月1日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	230百万円
1株当たりの金額	4円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

オルガノ株式会社
取締役会 御中

聖橋監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 松 田 信 彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 朝 長 義 郎 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 濱 田 尊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオルガノ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オルガノ株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。